

「やまぐちデジタル改革基本方針」に基づく取組について

1 やまぐちデジタル改革の取組状況

(1) 推進体制に係る取組

(2) 「施策の3つの柱」に基づく取組

2 令和3年度「デジタル・魁プロジェクト」の取組状況




3 デジタル社会の将来像と実現に向けた対応について

4 令和4年度「デジタル・魁プロジェクト」について

1 やまぐちデジタル改革の取組状況

(1) 推進体制に係る取組

① CIO補佐官の提案・助言等を踏まえた施策推進

補佐官	CIOミーティング・テーマ	提案の反映概要等
 <p>関 治之 氏 《(一社)ロード・フォー・ジャパン》</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 改革推進の着眼点等 ➤ シビックテック ➤ 中小企業DX ➤ 行政のDX推進人材 ➤ デジタルデバイド ➤ データ利活用 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「シビックテックチャレンジYAMAGUCHI」創設 ➤ 県デジタル人材育成方針を作成 ➤ 令和4年度当初予算(案)に反映 (デジタルデバイド、デザイン思考) ➤ その他、関連事業推進に反映 ※オンライン座談会を開催(シビックテック)
 <p>砂金 信一郎 氏 《LINE(株)》</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 改革推進の着眼点等 ➤ コミュニティづくり ➤ インフラメンテナンス ➤ 結婚・子育て支援 ➤ 広報DX ➤ 行政サービスのUI/UX 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「デジテック for YAMAGUCHI」創設 ➤ 「やまぐちオンライン手続総合案内サイト」構築 ➤ 令和4年度当初予算(案)に反映 (インフラメンテナンス、デザイン思考) ➤ その他、関連事業推進に反映 ※オンラインセミナーを開催(AI)
 <p>中井 陽子 氏 《日本マイクロソフト(株)》</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 改革推進の着眼点等 ➤ 個別最適学習 ➤ 教育データ活用 ➤ 観光DX ➤ ICT活用教育 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ワークショップ開催(教育データ、観光DX) ➤ 令和4年度当初予算(案)に反映 (教育データ、観光DX) ➤ その他、関連事業推進に反映 ※オンライントークセッションを開催(教育データ)

② DX推進官民協働フォーラムによる活動

デジテック for YAMAGUCHI





発 足 日	令和3年6月10日
会 員 数	586(個人480、団体106)
目指す姿	会員同士の交流・共創を通じた 持続可能な課題解決コミュニティ
活動目標	共に考え、挑戦し、克服する



活動実績

- 会員同士の交流
交流イベント、SNS(slack、note等)
- 会員自主イベントの開催
オープンデータの可視化に関する操作体験
(「Code for Yamaguchi」による企画運営)
- 会員同士の共創活動
個人会員のシビックテック的活動
(レノファ山口駐車場の見える化)
デジテック・オープンイノベーション
シビックテックチャレンジ YAMAGUCHI

③ デジタル・ガバメント構築に向けたワーキンググループによる取組

「山口県デジタル・ガバメント構築連携会議」に、行政手続のオンライン化や情報システムの標準化・共通化、RPA等の共同利用に関するワーキンググループを設置し、県・市町が連携した取組を推進

(2) 「施策の3つの柱」に基づく取組

① 「やまぐちDX」の創出

やまぐちDX推進拠点「Y-BASE」



開所日	令和3年11月1日
所在地	山口市(NPYビル10階)
開館日時	火曜日～土曜日、10時～17時
主な機能	<ul style="list-style-type: none"> ○最先端技術紹介 ○相談対応、DXコンサルティング ○ICT環境提供及び技術サポート ○DXイベント・勉強会
利用人数	913名(～1/31)

※市町等と連携したサテライト施設を設置予定(R4～)

取組実績

専門スタッフによる課題解決に向けたDXコンサルティングを実施(以下、主な事例)

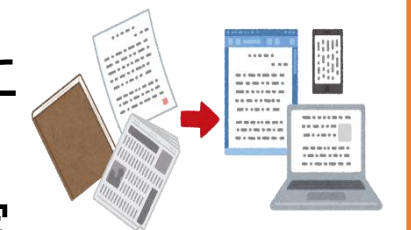
○周南市役所【野犬対策】

野犬通報アプリのデータを可視化。出没時間や場所等をダッシュボード化し、市HPに掲載予定。



○教育・学習支援【業務改善(ペーパーレス化)】

行事予定等の資料・メモの共有・修正の効率化に向け、ペーパーレス化の実証を4月から開始予定。



○製造業【業務改善(自動化)】

社内生産ラインの帳票管理等の自動化。ツールを導入し、実証実験を予定。



シビックテックの推進

スタートアップ企業等と行政・県民が協働して、デジタル技術で地域・行政課題の解決に挑戦

⇒7課題(うち市町4課題、県3課題)



聴力の弱い方ともスムーズな意思疎通ができる相談支援ツールの開発



近くの公民館(出張所)をもっと便利に。誰もが使いやすいオンライン窓口を作りたい!



スマホで完結!粗大ごみ申込の市民負担を減らすツールの開発

○実証実験の実施例(阿武町)



聴力の弱い方ともスムーズな意思疎通を行いたい

役場職員が話した言葉を文字で透明ディスプレイに表示し、相談支援を実施

○アプリ等導入に向けた検討

7課題中5課題について、次年度導入又は導入に向けた実証実験の継続を予定

オープンイノベーションの実施

官民協働フォーラムの会員同士が技術等を持ち寄り、課題解決に向けた実証実験を実施

⇒4件(課題所有者と民間企業等が協働)

施設の利用をスマホ一つで可能に!



道の駅を拠点とした中山間地域の生活利便性向上



○実証実験の実施例(山口市)



地域開放の公共施設の利用手続きを便利にしたい

スマートフォン一つで予約・決済・スマートキー等の機能を展開し、利用を促進

○アプリ等導入に向けた検討

4件中3件について、次年度導入又は導入に向けた実証実験の継続を予定

② 「デジタル・ガバメントやまぐち」の構築

行政手続のオンライン化・マイナンバーカードの普及促進

添付書類の精査や事務手続の見直し(BPR)を行いながら、行政手続のオンライン化を実施

⇒ 県関係手続について、申請件数ベースで8割超をオンライン化(引き続き、対象手続を拡大)

誰もが簡単にオンライン手続を利用できるよう、ワンストップ化を推進

⇒ 「やまぐちオンライン手続総合案内サイト」を構築(令和4年3月公開)



やまぐちオンライン手続総合案内サイト

ホーム お知らせ よくある質問 アンケート サイトリンク

オンライン手続検索

手続の申請はこちらから

申請受付期間
受付期間: 2021年12月1日から2022年1月31日まで
電子申請による申請は以下のリンクから(外部サイトへ移動します)
[やまぐち電子申請サービス](#)
電子メールによる申請は以下のアドレスから
a10400@pref.yamaguchi.lg.jp

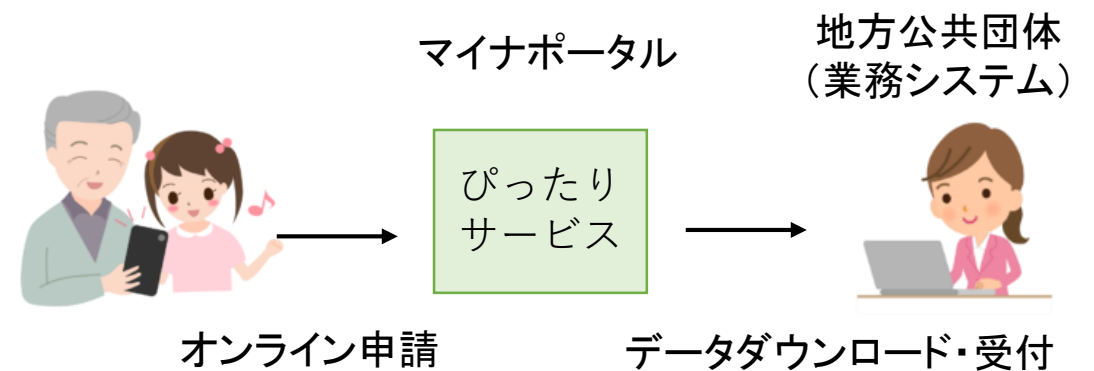
オンラインでの本人確認を安全・確実にを行うための基盤となるマイナンバーカードの普及を促進

⇒ 国のマイナポイント事業等とも連携し、県・市町による普及啓発・広報活動を展開

交付枚数率42.8% 全国7位(令和4年1月現在)

特に住民の利便性向上に資する県・市町手続(子育て・介護等)について、令和4年度末までにマイナンバーカードを用いてオンライン申請が可能となるよう、ワーキンググループにより推進

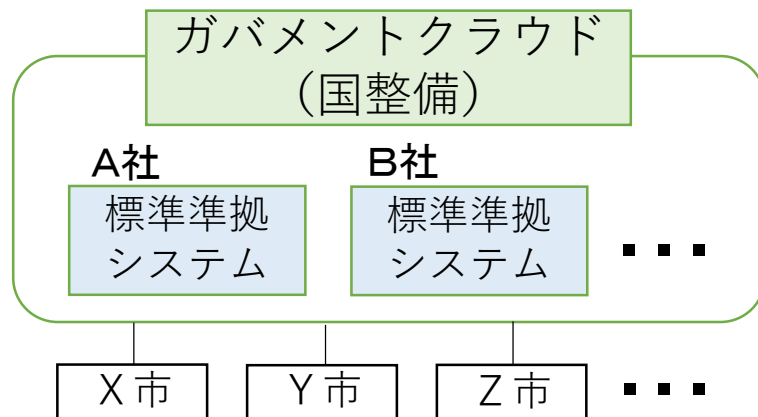
⇒ 県及び8市町・延べ59手続がマイナポータル等からマイナンバーカードを用いて申請可能



情報システムの標準化・共通化

国が定める基幹20業務※について、目標時期(令和7年度)までに、ガバメントクラウド上の標準標準拠システムへ移行できるように、計画的に推進

⇒ **ワーキンググループで、国の動向や課題の共有、移行時期の整理等を実施**



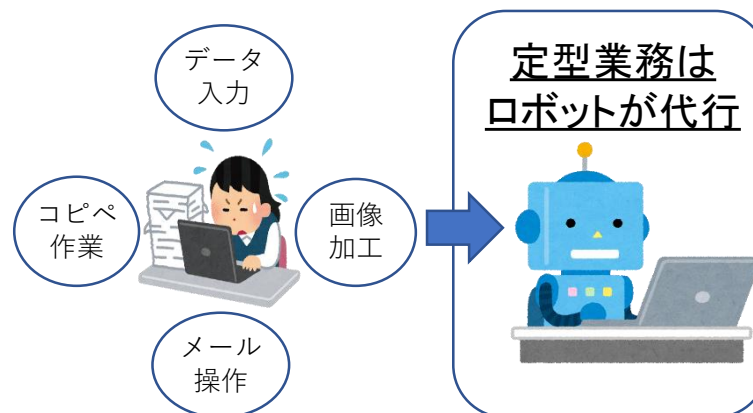
※児童手当、子ども・子育て支援、住民基本台帳、戸籍の附票、印鑑登録、選挙人名簿管理、固定資産税、個人住民税、法人住民税、軽自動車税、戸籍、就学、健康管理、児童扶養手当、生活保護、障害者福祉、介護保険、国民健康保険、後期高齢者医療、国民年金

AI・RPAの活用

定型業務を自動化するRPAや、議事録作成支援システム等のAIを順次導入

⇒ **RPA:20業務(R3)**

(報酬支払業務、許可・届出業務等)



ワーキンググループを設置し、市町との共同利用も推進

⇒ **RPA:5業務**

(介護関係書類データ化・台帳整理等)

議事録作成支援システム

(15市町)

オープンデータの推進

オープンデータ登録数の増加及び利活用の促進(登録数、アクセス数、ダウンロード数とも前年度比増)

(TOPページ)

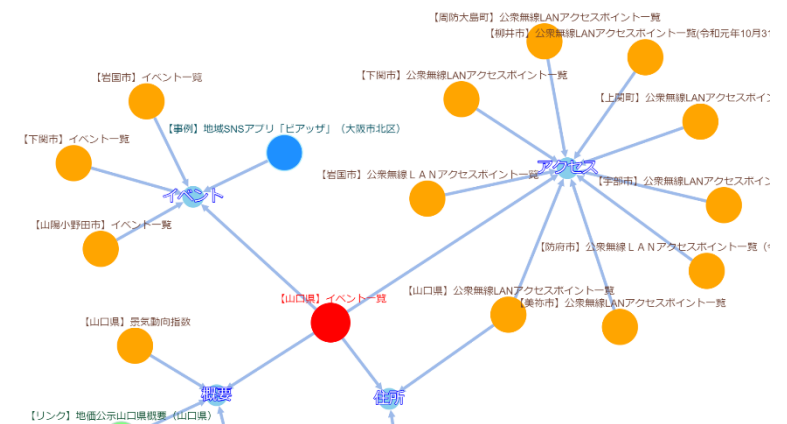


山口県オープンデータカタログサイト




データセット検索



カタログサイトの機能強化及び担当者勉強会による利活用促進
→関連データや事例を検索・可視化できる機能の追加



③ 「デジタル・エリアやまぐち」の形成

デジタル人材の確保	デジタル人材の育成①
<p>専門的知見を有する人材を確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ○CIO補佐官 3名 (LINE(株)、(一社)コード・フォー・ジャパン、日本マイクロソフト(株)) ○兼業・副業アドバイザー 2名 (ヤフー(株)、(株)駅探) ○県未来技術活用統括監 1名 (西日本電信電話(株)) ○県情報職 7名 <p>《専門的知見を活かした例》</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div> <p>官民協働フォーラムの運営等に対する提案・助言等</p> <p style="text-align: center;">▼</p> <p>会員交流イベントの企画実施や令和4年度当初予算(案)等に反映</p> </div> </div> <p>アドバイザー 水田 千恵氏 (ヤフー(株))</p>	<p>デジタル技術の習得を目的とした実践的研修等を実施(受講人数)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○AI人材育成プログラム(242名) ○データ利活用研修(73名) ○ローコード技術研修(30名) ○高校生データサイエンティスト講座(39名) ○県内企業等データサイエンス講座(33名) 等 <p>《AI人材育成プログラムの例》</p> <p>プログラミング技術を習得し、AIモデルを開発できる人材を育成</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>プログラミング 技術習得61名</p> </div> <div style="font-size: 2em;">➔</div> <div style="text-align: center;">  <p>AIモデル開発 実践28名</p> </div> </div>

デジタル人材の育成②

県職員に必要なデジタル技術に関する研修等を整理した、「山口県デジタル人材育成方針」を作成

人材区分	研修内容
デジタル マネジメント人材 (管理職員)	・デジタル化マネジメント
デジタル専門人材 (情報職等)	・ネットワーク構築 ・アプリ開発 ・システム構築 等
デジタル推進 リーダー人材 (政策担当職員)	・デザインシンキング ・データ利活用応用 ・AI活用 等
デジタル利活用人材 (一般職員)	・マインド醸成 (デザインシンキング基礎 UI/UX基礎 等) ・ICT活用 (ICT基礎、セキュリティ基礎 等) ・情報リテラシー向上

⇒ 今後、本方針に基づき、職員に対する研修を計画的・効果的に実施

デジタルリテラシーの向上

県、市町、携帯電話通信事業者等からなる「デジタルデバйд対策専門部会」を設置し(令和3年9月)、情報・意見交換を行うなど、地域における効果的なデジタルデバйд対策を推進

デジタル機器の活用不安のある高齢者等がデジタルに対する興味・関心を持ち、デジタルの活用を通じて、より豊かな生活を実現していくことができるよう、スマートフォンを活用し、デジタルの利便性や楽しさを伝えるセミナーをモデル的に開催

⇒ 22名が参加



シニア向けデジタル
デビューセミナー
(令和3年12月開催)



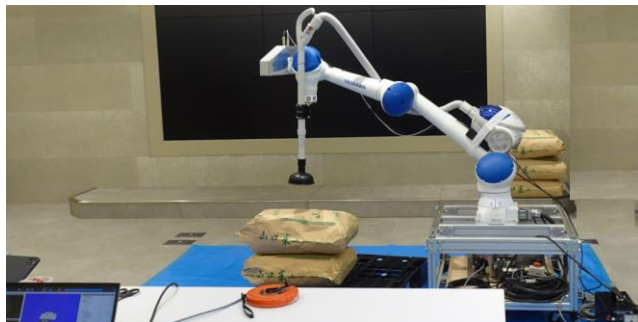
デジタルインフラの整備・活用

○NTTドコモとの5G協定締結
(令和3年6月)

Y-BASEに5G環境を整備するとともに、5Gの特性を活かして360度VR映像をリアルタイムにライブ配信できるデモ展示を導入(令和3年11月)



Y-BASEの5G環境を利用して、クラウド上の高性能サーバによる一元的なロボットアーム制御の実証を実施(令和4年1月)



県立総合医療センターと岩国市立美和病院を5Gで繋ぎ、胃カメラ検査の遠隔サポートの実証を実施

⇒ これまで5例実施

令和3年7月(1例)、令和3年11月(1例)、令和3年12月(3例)



通常診療に5Gとアノテーション機能を取り入れた全国初の取組

⇒ 来年度、実証対象を拡大

県立美術館から県内の学校に、高精細の美術作品映像を5G通信により安定的に送信するとともに、1人1台タブレット端末も適時使用する全国初のハイブリッドアート授業「5Gアートスクール」を開催



⇒ 令和3年12月開催

山口県立美術館 × 防府市立松崎小学校

2 令和3年度「デジタル・魁プロジェクト」の取組状況

1

「デジタル de 子育て支援」推進プロジェクト

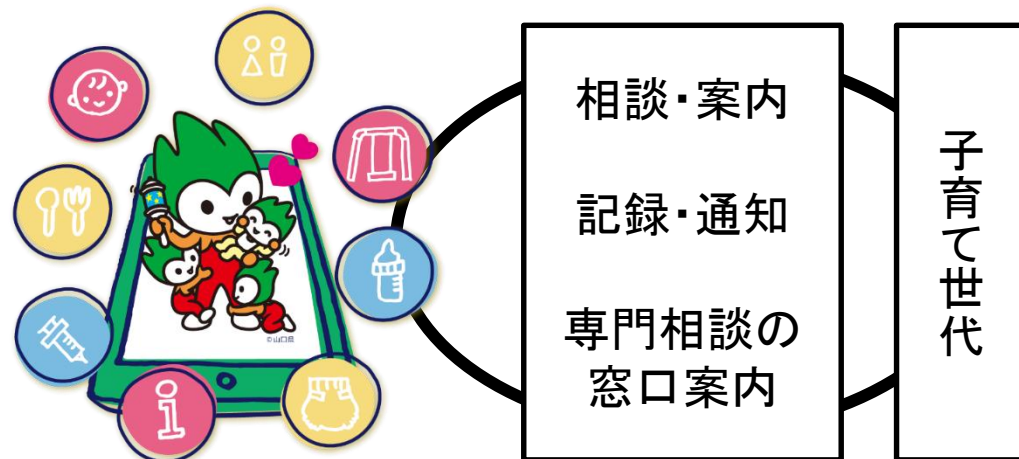
主な取組

- 「子育てAIコンシェルジュ」のシステム運用開始に向けて、実証試験(令和4年1月17日～3月4日)を実施【令和4年4月1日運用開始予定】
- 子育てに関する悩み相談を24時間365日受け付けるSNS相談窓口を開設【令和4年1月開設】

子育てAIコンシェルジュ運営事業(健康福祉部)

スマホとLINEを活用したシステムにより、県民からの妊娠、出産、子育てに関する問合せに24時間365日対応するなど、一貫した伴走型支援を実施。

- ・子育てに関する様々な相談内容を判断し、最適な回答へと案内するAIチャットボットを運用
- ・母子手帳アプリと連携するほか、「つながるやまぐちSNS」等専門的な相談窓口を紹介
- ・位置情報により近隣の公園等を紹介し、外出をサポート



つながるやまぐちSNS相談事業(健康福祉部)

児童虐待やDVなどの問題の深刻化を未然に防止するため、子どもや子育て等に関する相談を専門職員がワンストップで受け付けるSNS相談窓口を開設



主な取組

- 県立学校に導入した1人1台タブレット端末等のICT環境を効果的に活用して、個別最適な学びに向けた基盤整備やデジタル人材の育成、海外との遠隔授業等を推進
- 山口博物館が所蔵する文化資源をデジタル化するとともに、魅力的なコンテンツを提供することで、鑑賞機会の拡大や学校等における学習活動への支援【約500点】
- 私立高校等におけるICT技術者の配置や教職員研修等に対する支援を実施【9校に支援】

ICTを活用した先進的教育推進事業 (教育委員会)

- 統合型校務支援システムの早期整備
高等学校への前倒し導入や市町立学校への導入に向けた支援等を実施
- 高校生ICT活用コンテスト
授業等でのICT活用事例やデジタルアート、プログラミング技術等を競うコンテストを開催
- 高校生データサイエンティスト育成講座
データサイエンスに必要な数学的知識や技術に関する講義、AIを利用したデータ分析演習等を行う講座を開催
- 時間と空間を超えた遠隔授業等の推進
海外の学校等をつないだ遠隔授業等の実施を支援するコーディネーターを県立学校に派遣



新たな博物館展示創出事業 (教育委員会)

- 所蔵する文化資源のデジタル化
防長土図など、本県にゆかりの深い収蔵資料を中心にデジタル化し、ホームページ上での配信を行うと同時に、オンライン授業等で活用
- デジタル化で新たなコンテンツを作成
学校と博物館をつないで、博物館のコンテンツを活用したオンライン授業を実施(今年度4回実施)
※デジタル化したコンテンツは、3月に展示室及びHP上に公開予定



私立高等学校等「未来型教育」支援事業(総務部)

- 私立高等学校等における教育ICT環境を活用した新たな学びの導入・定着に向けて、専門的人材の配置などに必要な経費を支援
- 【専門的人材配置】
・機器の初期設定、情報セキュリティマニュアルの作成、機器等のトラブル対応等を行う人材の配置
- 【ICT活用指導力向上】
・ICT活用のための校内研修の開催
・民間ICT研修の受講



主な取組

➤ 高度なインフラ監視・点検

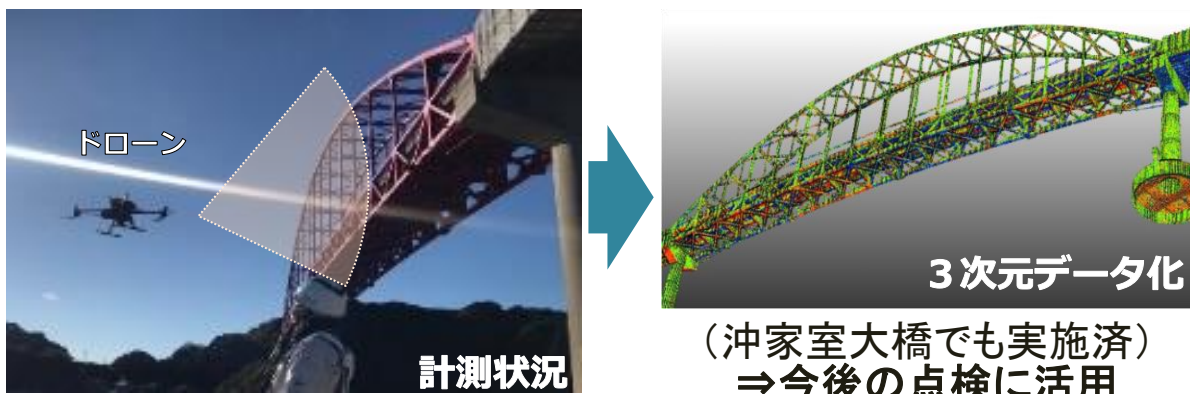
- ・笠戸大橋、沖家室大橋で新たにデジタル技術を活用した計測を行い、橋の細密な状態を把握【令和3年11月】
- ・島田川でドローン等により3次元の地形データを取得し、新たな地形の変状監視の有効性を確認【令和4年2月】

➤ AIによるインフラ点検・診断システム活用推進事業

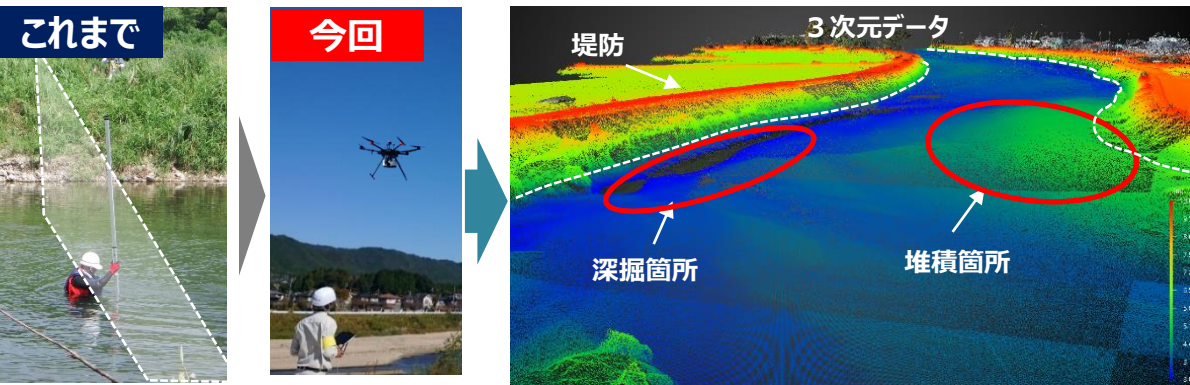
- ・小規模橋梁(34橋)を対象に、昨年度開発した点検・診断システムの有効性を検証【令和4年2月】

高度なインフラ監視・点検(土木建築部)

笠戸大橋(下松市)で構造の3次元データ化を図るとともに、橋の変位等を計測することにより、橋の細密な状態を把握 《11月実施》



島田川(光市)で水面下を含む3次元の地形データを取得《10月実施》
これまでと比べ短時間で、立体的に可視化することが可能
データ精度等から、今後の監視に活用できるかどうか有効性を確認



横断面を計測

⇒ このデータを基に河川の地形の変状を監視

AIによるインフラ点検・診断システム活用推進事業(土木建築部)

第一庄方橋(山口市)で点検・診断システムによる実証を行い点検精度等から有効性や作業時間の大幅な短縮を確認
(この他33橋で実証済) 《令和4年2月実施》

① タブレットで橋を撮影

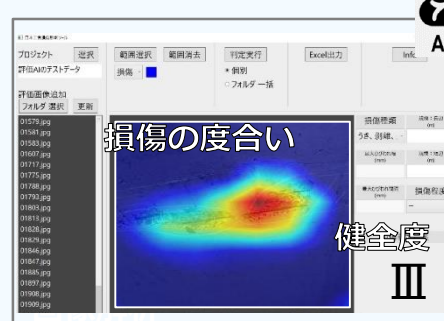


② 損傷の状況写真



システムへ
自動転送

③ AIが判定し、損傷の度合いと健全度を表示



④ 橋全体の健全度を調書に表示

道路橋毎の健全性の診断		III
点検調書		
橋名	第一庄方橋	III
点検日	令和4年2月	
点検者	土木建築部	
点検結果	III	
補修内容		
備考		

⇒ 今後、他の小規模橋梁にも拡大

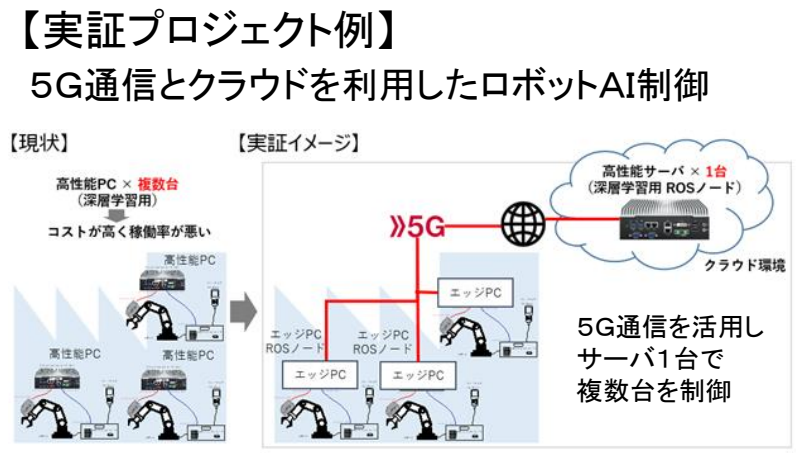
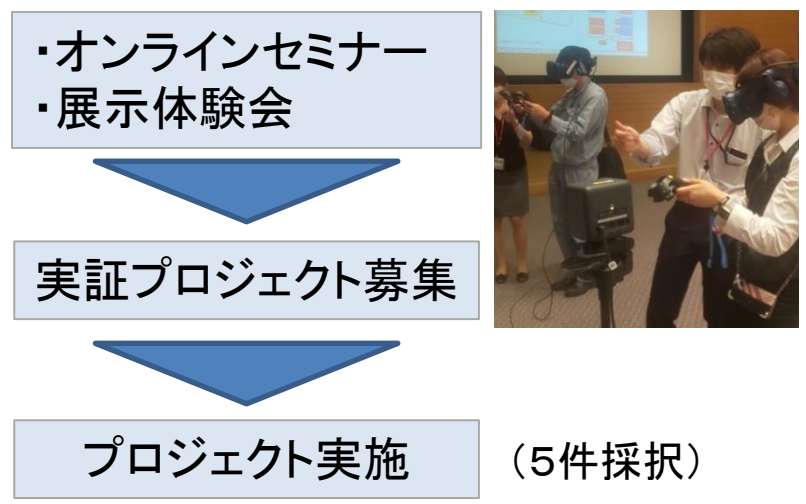
4

「未来を切り拓く中堅・中小企業DX」促進プロジェクト

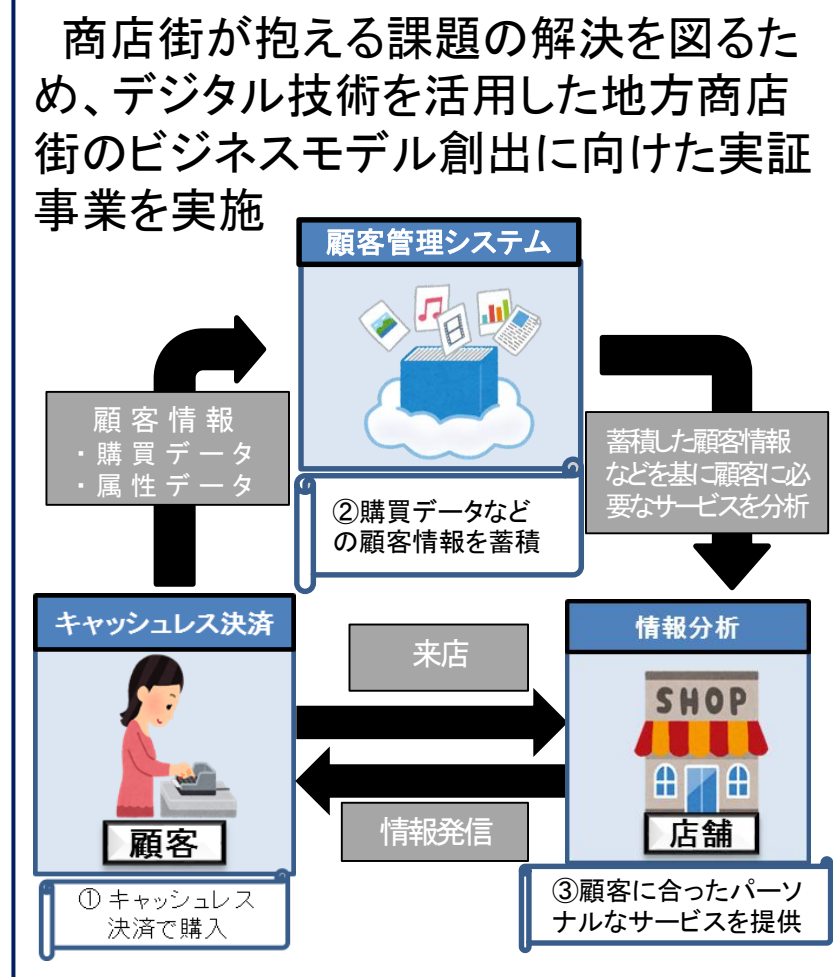
主な取組

- ものづくり企業のDX促進に向け、デジタル技術を活用した実証プロジェクトを支援
【実証プロジェクト5件実証中】
- デジタル技術を活用した未来型商店街の創出を支援
【山口市中心商店街で3事業実証中】
- 生産性向上や既存ビジネスの変革等を目指した情報処理システムの構築に係る補助を実施
【採択32件】

ものづくり企業におけるDX加速支援事業 (産業戦略部)



未来型商店街創造事業 (商工労働部)



中小企業DX推進総合支援事業 (商工労働部)



主な取組

- デジタル技術を活用した新たな販促手法となる「ぶちうま！アプリ」の開発・運用
【令和4年1月17日の運用開始から9日目で利用者数1万人を突破】
- モデル産地での農業経営資産のデジタル化
【3産地で実施】
- オンライン商談システムの運用、AIカメラ・デジタルサイネージ搭載自動販売機の設置
【商談システム：令和3年4月運用開始 自動販売機：都内2か所設置】

やまぐちの農林水産物デジタル販促推進事業(農林水産部)

地産・地消を促進する本県独自の「ぶちうま！アプリ」を開発し、若年層をはじめ幅広い世代への新たなアプローチにより、県産品ファンを増加させ、需要拡大を推進

〔主な機能〕

- ◇参加店舗での購入等によるポイント獲得
- ◇ポイント獲得と連動した食育機能、電子クーポン・オリジナルLINEスタンプの配信
- ◇生産者への応援メッセージの投稿
- ◇GPSを活用した近隣地産・地消推進拠点の紹介



⇒ 1月17日から運用開始
アプリ参加店舗は約300
9日目で利用者数1万人を突破

やまぐち「農の継活」スタートアップ推進事業(農林水産部)

農業経営資産のデジタル化やデータベース化をはじめとした経営継承のモデル実証を行い、経営資産や栽培技術等を円滑に継承する仕組みを構築

- ・モデル産地で農業継承資産を映像化・数値化【3産地】



- ・デジタル化した情報をデータベース化し、HP等で情報発信



やまぐち発農山漁村イノベーション推進事業(農林水産部)

遠隔地のバイヤーと、非対面で円滑に商談が行える環境を整備し、県外へ移動することのない商談の機会を創出。

大都市圏において非対面でテスト販売が行える環境を整備。販売データを商品力の向上に活用。

《商談システム》



⇒ 令和3年4月から運用開始

《自動販売機》



⇒ 都内2か所設置

主な取組

- やまぐち創生テレワークオフィス「YY！ SQUARE」を設置（令和3年7月）・運用
- やまぐちワーケーション総合案内施設「YY！ GATEWAY」を設置（令和3年8月）・運用
【延利用者数：YY！ SQUARE1,995人、YY！ GATEWAY548人（令和4年1月末時点）】
【テレワーク・ワーケーション総合案内サイト閲覧数：47,099件（令和4年1月末時点）】
- 県内観光事業者によるデジタルプラットフォームを活用した情報発信やマーケティングを支援
【支援件数2,300件（令和3年12月末時点）】
- 「山口県立美術館」「萩美術館・浦上記念館」収蔵品のデジタル化
【「やまぐちデジタルギャラリー」の設置（令和4年2月8日）】

やまぐち創生テレワーク推進事業 ワーケーション推進事業（総合企画部）

本県への新しい人の流れを生み出す
「転職なき移住」や「新しい働き方」等を
実践する環境を整備

《県庁テレワークモデルオフィス》

（YY!SQUARE）



⇒ 県庁1階に
令和3年7月
オープン

《空港ワーケーション推進拠点》

（YY!GATEWAY）



⇒ 山口宇部空
港に令和3年8
月オープン

デジタルプラットフォーム活用による観 光周遊促進事業（観光スポーツ文化部）

観光事業者によるデジタルプラット
フォームの活用を支援

《事業内容》

○ 「Googleマイビジネス」への施設
情報の登録作業を代行

⇒ 7月28日から事業開始

2,300件を支援

- 活用に向けたセミナーの開催
- 活用マニュアルの作成
- サポートデスクの運用

《対 象》

宿泊施設、飲食店、
小売店、体験施設、
観光施設 等



新たな美術館魅力創出事業 （観光スポーツ文化部）

文化振興・誘客拡大に向け、「山口県
立美術館」「萩美術館・浦上記念館」収
蔵品のデジタル化を進め、デジタル技
術を活用したコンテンツの運用を開始

《やまぐちデジタルギャラリー》

4K対応大型タッチパネルによる高精細デジタル画像の
鑑賞、所蔵品検索、解説動画の鑑賞等



⇒ 2月8日運用開始

《やまぐちバーチャルアートミュージアム》

本県の魅力ある美術収蔵品をオンライン展覧形式で公開

⇒ 3月運用開始予定

主な取組

- デジテック for YAMAGUCHIのメンバー同士が地域課題解決・新たな価値の創造に向けて取り組む実証を支援
【4課題の実証、実施地域：美祢市、山口市、岩国市、防府市】
- 行政とスタートアップ企業等が協働して、デジタル技術で地域・行政課題を解決する取組を支援
【7課題の実証、実施地域：阿武町、周南市、防府市、山口市、県×3】

やまぐちDX推進事業(総合企画部)

《デジテック・オープンイノベーション》

官民協働フォーラムの会員同士が技術等を持ち寄り、課題解決に向けて実証実験を実施

課題名（会員名）

過疎地域の課題解決を目指す新スマート物流の取組
(株)エアロネクスト、セイノーホールディング(株)、美祢市)

施設の利用をスマホ一つで可能に！
(山口市、(株)Tsumug、LINE(株))

道の駅を拠点とした中山間地域の生活利便性向上
(株)フォーバル、(株)ピュアラインにしき、(社福)岩国市社会福祉協議会)

ドローンを活用した地域防災・災害対応への支援
(岡村工業(株)、SMGコンサルタント(株)、NPO法人 スマイルプロジェクト、(株)エイム、防府市)

やまぐちDX推進事業(総合企画部)

《シビックテックチャレンジ YAMAGUCHI》

スタートアップ企業等と行政・県民が協働して、デジタル技術で地域・行政課題の解決に挑戦

課題名

自治体

スマホで完結！粗大ごみ申込の市民負担を減らすツールの開発

山口市

近くの公民館（出張所）をもっと便利に。誰もが使いやすいオンライン窓口を作りたい！

防府市

全長1,200kmの市道メカニクスを官民まるごとDXしたい！

周南市

聴力の弱い方ともスムーズな意思疎通ができる相談支援ツールの開発

阿武町

ナッジやゲーミフィケーションで、子どもたちの環境学習を行動変容につなげたい！

県

主要観光地の訪問者数をタイムリーに把握し、観光対応に活かしたい！

県

衛星・ドローンを活用し、農地の作付状況をスマートに把握したい！

県

「データ＝価値創造の源泉」利活用促進プロジェクト

主な取組

- やまぐちDX推進拠点における相談対応、DXコンサルティング、技術サポート等を行うためのICT環境である「Y-Cloud」と「山口県データプラットフォーム」を構築し、運営を開始
- 行政保有データと、行政及び地域の抱えるニーズや各種事例情報などの関連性を分析・可視化して提供する機能を山口県データプラットフォーム内に構築
- 山口大学がデータサイエンティスト育成に係る講座を開講
【社会人受講者14名（うち県内企業から受講推薦のあった者について受講料を補助(11名)）】

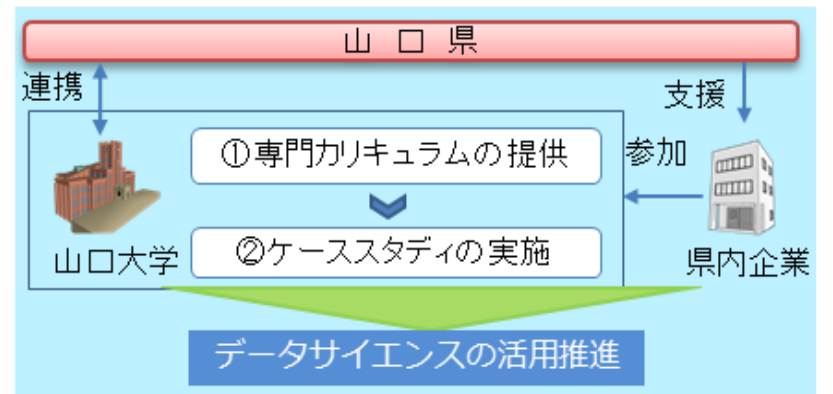
やまぐちDX推進事業(総合企画部)

全国初のAI解析ツールにより関連性の高いデータを可視化し、広範にわたるデータを収集・連携するデータ基盤「山口県データプラットフォーム」、データの分析やAI・アプリ開発等の実証が行えるツールを備えたICT環境「Y-Cloud」を構築し、DXコンサルを通じて、課題解決に向けたデータ分析や実証実験を実施



データサイエンス活用推進事業 (商工労働部)

産学公連携によりデータサイエンスの活用を推進し、県内企業の技術力・研究開発力の強化に取り組む



- データサイエンティスト育成に係る 専門カリキュラムの受講支援
- ケーススタディの実施 企業・大学連携テーマを対象とした 共同研究支援

9 「誰でも・いつでも・どこでもデジタル」基盤整備促進プロジェクト

主な取組

- 光ファイバ整備に対する支援制度の継続・拡充や、光ファイバ等の超高速ブロードバンドのユニバーサルサービス化等を国に要望
- 県内市町におけるデジタルデバイド対策に係る事業・取組を進めることを目的とした、県、市町、大手携帯電話通信事業者等で構成する専門部会を設置【令和3年9月】
- シニア向けデジタルデビューセミナーを開催【令和3年12月開催：参加者22名】

政府要望の実施(総合企画部)

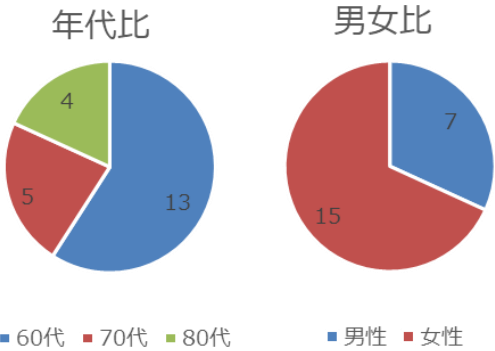
- デジタル社会の基盤となる情報通信インフラ整備の加速について(総務省)
 - どこでも、誰でも、デジタル化の恩恵を享受するための情報通信インフラ整備の加速
 - 光ファイバ網未整備地域の実情に応じた整備支援制度の充実と継続
 - 地方のデジタル化を支えるCATVや公設光ファイバ網の高度化等に対する支援の創設・拡充
 - デジタルデバイドを解消する超高速ブロードバンドの「ユニバーサルサービス化」の実現
 - 真の5G社会実現に向けた地方における5G基地局の整備加速
 - 地方の実情を踏まえた5G周波数帯域の確保

シニア向けデジタルデビューセミナー(総合企画部)

デジタル機器の活用不安のある高齢者がデジタルに対する興味・関心を持ち、スマートフォンで健康管理を簡単・便利に行う方法を楽しく学べるセミナーを開催し、高齢者のデジタルデビューに向けた機運醸成を図る。

[日時] 令和3年12月2日(木) 10:30~12:00
 [場所] やまぐちDX推進拠点Y-BASE
 [対象等] シニア世代(60代以上)でスマートフォンの初心者やこれから使ってみてみたい方など

	応募者	受付者数	参加者	参加率
合計	46名	24名	22名	約91.7%



【アンケート結果】
 ・セミナーの満足度は、満足以上と回答した参加者が約81.8%と好評であった
 ・「勉強になった」「自分のスマホにもアプリをダウンロードしてみたい」「また次回も参加したい」と前向きなコメントが多数あった
 ・現在スマートフォンを保有していない参加者の100%が「このセミナーに参加してスマートフォンを持ってみてみたい」と回答

「明日の社会を創るデジタル人材」育成プロジェクト


主な取組

- 行政職員自らがアプリ開発等を行うことが可能になるローコード技術を活用した研修を開催【受講者30名】
- 高校生・大学生等が講演等を通じて、デジタル人材に必要な考え方を学ぶとともに、若手社会人と共に地域課題の解決に向けたアプリ制作のハッカソン等を実施【令和3年10月山口市で実施（全3日間）、参加者：高校生・大学生等18人】
- 離職者等のキャリアアップや職種転換に向けたIT分野等の職業訓練を実施【11回実施・受講者102名】

やまぐちDX推進事業(総合企画部)


基礎スキルを修得する「ローコード基礎研修」、アプリ開発技術を習得する「ハンズオン研修」、課題解決力を習得する「現場実装研修」を通じ、業務改善アプリを開発(以下、主なアプリの例)

- 紙おむつ支給に係る申請ツール
- 児童クラブ支援員の勤怠管理ツール
- e-ラーニング学習管理システム
- FAQサイトの作成 等




やまぐち未来維新塾DX事業(総合企画部)


デジタル人材として活躍している本県出身の講師によるマインドセットや、地域課題の掘り下げと課題解決アイデアの創出、アプリ制作方法などを学ぶキャンプを実施




講師によるマインドセット



地域課題の掘り下げ及び課題解決アイデアの創出(アイデアソン)




メンター指導による地域の課題解決に向けたアプリ制作(ハッカソン)




開発したアプリの発表

地域雇用創造事業(求職者キャリアアップ支援)(商工労働部)


ITスキルやDXに関する知識などを習得する職業訓練を実施



ジョブカードを活用したキャリアコンサルティング、職業相談及び求人情報の提供などの就職支援を実施



正社員就職



3 デジタル社会の将来像と実現に向けた対応について

I 産業維新

目指すべき将来像

- IoTや5G、AI等の導入が進み、本県の強みであるものづくり産業を中心に生産性が大幅に向上し、労働力不足が解消されるとともに、データ利活用分野等において、新たなサービスが続々と誕生している。
- 中小企業のDXやテレワーク等の導入が進み、経済成長を牽引する中核企業が創出されるなど、中小企業が持続的に発展する基盤が構築されている。
- 農林水産業のスマート化や建設業のDXが進み、生産現場・建設現場の省力化と生産性向上によって、収益の拡大や労働環境の改善が図られ、新たな担い手が数多く参入している。

区分	目標(目指すべき姿)	対応策	主な関連事業等(令和4年度)
産業イノベーション	スマートファクトリー IoTや5G、AI等の導入によって、業務の効率化や高度化が進み、企業等の生産性の向上や、新たな製品・サービスの創出が図られ、少人数での生産が可能となる。	IoT、5G、AI等の導入促進や、企業間の技術交流、企業内人材の育成に取り組み、先進事例の横展開を図る。	【産業戦略部】 ○ものづくり企業におけるDX加速支援事業 ○やまぐちスマートファクトリーモデル構築事業 ○IoTビジネス創出促進事業 ○やまぐちIoT導入サポーター派遣事業 【総合企画部】 ○やまぐちDX推進事業(再掲) ○次代を支えるデジタル人材育成事業(再掲)
	ヘルスケア×AI AIを活用したヘルスケア関連産業の育成により、ヘルスケア関連製品・サービスが事業化され、県民の健康寿命が延伸する。	山口市産業交流拠点施設を核としたヘルスケア関連製品・サービスの事業化を支援するとともに、住民モニターを活用した製品等の効果検証を通じた健康づくりを推進する。	【産業戦略部】 ○AI技術等の活用によるヘルスケア関連産業創出事業
	データ⇒イノベーション ビッグデータやオープンデータを民間企業が活用できる環境が整備され、データの利活用が進み、企業の新規事業化やベンチャー企業の創出が促進される。	衛星データ等のビッグデータ利用や行政データのオープン化、研究機器の遠隔利用等による研究開発基盤の構築を進めるとともに、データの活用促進に向けた環境の整備やデータサイエンティストの育成に取り組む。	【商工労働部】 ○産学公によるバーチャルラボ構築事業 ○宇宙利用産業創出支援事業 ○データサイエンス活用推進事業 【総合企画部】 ○やまぐちDX推進事業(再掲) ○次代を支えるデジタル人材育成事業(再掲)

区分	目標(目指すべき姿)	対応策	主な関連事業等(令和4年度)
中堅・中小企業	<p>中小企業DX</p> <p>RPAやクラウド、IoT、オンライン技術等の導入により生産性の向上や既存ビジネスの変革等が進み、地域中核企業の創出や中小企業の成長が図られる。</p>	<p>RPA、クラウド、IoTやデータ活用技術等の先端技術の情報発信や導入促進、サテライトオフィス誘致、人材育成や中小企業におけるDXを推進させるためのベンダー企業とのマッチング支援を行う。</p>	<p>【商工労働部】 ○中小企業クラウド型RPA共同利用化推進事業 ○中小企業DX推進総合支援事業 ○やまぐちIT・サテライトオフィス誘致推進事業 ○中小企業制度融資(DX対応支援資金)</p> <p>【総合企画部】 ○やまぐちDX推進事業(再掲) ○次代を支えるデジタル人材育成事業(再掲)</p>
		<p>デジタル技術を活用し、商店街が抱える課題の解決や、コロナ時代の「新たな日常」への対応に向けた実証事業を支援する。</p>	<p>【商工労働部】 ○未来型商店街創造事業</p>
		<p>3D技術の高度活用人材の育成や、生産現場への導入を支援する。</p>	<p>【商工労働部】 ○3Dものづくり技術活用推進事業</p>
	<p>ハイブリッド展示会×販路拡大</p> <p>リアルとオンラインを併用したハイブリッド形式の展示会等が増加している中、そうした新たなスタイルの展示会等においても販路拡大が実現できる。</p>	<p>新たなスタイルの展示会等について、セミナー受講から実践の場としての展示会等の出展までを一体的に支援することで商談成約に至るノウハウの定着を図り、中小企業の競争力強化を図る。</p>	<p>【商工労働部】 ○新スタイル対応販路拡大支援事業</p>
産業人材の確保・育成	<p>新たな就職・採用スタイル</p> <p>VR映像やオンラインを活用した県内企業の魅力の発信等を進めることにより、企業の採用競争力の強化が図られ、県内就職が増加する。</p>	<p>VR映像やオンラインを活用した企業見学やインターンシップの実施等、企業の魅力情報等を伝える取組を支援する。</p>	<p>【商工労働部】 ○デジタルを活用した採用力強化支援事業 ○若者県内定着促進事業 ○雇用のセーフティネット強化事業 ○外国人材企業受入支援事業</p>
	<p>産業人材の確保・育成</p> <p>企業がデジタル変革(DX)を進める上で必要となる産業人材を確保・育成することにより、県内企業のDXが進む。</p>	<p>産業におけるDXの加速に向け、企業内におけるデジタル人材の育成・確保に向けた取組を推進する。 また、企業が求めるデジタル技術に係る知識・スキルを習得できる職業訓練を求職者・在職者の双方に対して実施する。</p>	<p>【商工労働部】 ○中小企業DX推進総合支援事業(再掲) ○職業能力開発支援事業 ○地域雇用創造事業(求職者キャリアアップ支援) ○首都圏等プロフェッショナル人材還流促進事業</p> <p>【産業戦略部】 ○ものづくり企業におけるDX加速支援事業(再掲) ○高度産業人材確保事業</p>

区分	目 標(目指すべき姿)	対 応 策	主な関連事業等(令和4年度)
農 林 水 産 業	<p>スマート農業</p> <p>スマート農機等のデジタル技術の導入により、生産性の向上や技術の継承、労働環境の改善が図られ、就農者の確保・定着につながり、成長産業化を実現する。</p>	<p>デジタル技術の活用に向けた研究開発を進めるとともに、中核経営体においてスマート農機等を実証し、周辺地域への導入を促進する。</p>	<p>【農林水産部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○スマート農林漁業「匠の技」創出事業 ○やまぐちの麦DX活用推進事業 ○スマート農業実装加速化事業 ○やまぐち「農の継活」スタートアップ推進事業
	<p>スマート畜産業</p> <p>ICT等の先進技術を畜産経営に導入し、飼養管理の省力化や生産性向上を実現することにより、経営体質が強化される。</p>	<p>先進技術の導入に向け、研修会の開催や経営マネジメント支援とともに、搾乳ロボット等を備えた「酪農スマートファーム」を整備する。</p> <p>また、畜産農家と関係機関が一体となった牛の健康監視システム等を実装し情報共有を図る取組を推進する。</p>	<p>【農林水産部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○畜産オンライン生産システム実装推進事業 ○畜産経営スマート化促進事業 ○やまぐち畜産・酪農収益力強化事業 ○スマート農林漁業「匠の技」創出事業（再掲）
	<p>スマート林業</p> <p>スマート林業技術の導入による省力かつ高精度な木材生産システムの構築と、労働環境の改善による林業従事者の確保・定着を図る。</p>	<p>労働災害の低減や軽労化に資するスマート林業技術の導入を支援する。</p> <p>また、パッケージ化した複数のスマート林業技術の実践や操作技能の習得等を一体的に支援し、現場実装を促進する。</p>	<p>【農林水産部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○林業労働環境デジタル化推進事業 ○やまぐちスマート林業実装チャレンジ事業 ○ドローンによる低コスト再造林推進事業 ○スマート農林漁業「匠の技」創出事業（再掲）
	<p>スマート水産業</p> <p>データを活用した資源管理や漁場予測を導入することにより、技術の継承が図られるとともに、操業の効率化を実現する。</p>	<p>漁獲・漁場情報のデジタル化を進め、デジタルデータ基盤を構築するとともに、実証を経てアプリの開発、普及を進める。</p>	<p>【農林水産部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○スマート水産業社会実装推進事業 ○持続的漁場利用推進事業 ○スマート農林漁業「匠の技」創出事業（再掲）
	<p>農林水産物販促DX</p> <p>店舗での非対面販促システムの導入や、スマホを活用した新サービスの創出など、デジタル技術を活用した販売促進を進め、県産農林水産物の更なる需要拡大を図る。</p>	<p>販売協力店等へのデジタルサイネージの設置や、地産・地消推進拠点へ誘客するアプリの開発、SNS上で県産品を贈るデジタルギフトサービス等の導入を推進する。</p>	<p>【農林水産部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○やまぐちの農林水産物デジタル販促推進事業 ○ぶちうま！維新推進事業

区分	目 標(目指すべき姿)	対 応 策	主な関連事業等(令和4年度)
建設業	<p>i-Construction(アイ・コンストラクション)</p> <p>測量・設計、施工、維持管理の各段階で、ICTや3次元モデルの活用が進み、生産性が向上し、魅力ある建設現場を実現する。</p>	<p>県内企業向けに、ICTの活用ができる技術者を養成するセミナーを開催するとともに、3次元モデルの活用を促進するためのガイドラインを作成する。</p>	<p>【土木建築部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○建設ICT導入普及推進事業 ○建設DX加速化事業
産業基盤	<p>デジタル技術×安定供給</p> <p>デジタル技術を活用し、効率的・効果的な維持管理や計画的な老朽化対策等を行い、電気及び工業用水の安定供給体制を強化する。</p>	<p>AIや無人カメラ等を活用し、導水路点検・診断等の効率化を図るとともに、データ蓄積により診断等の精度を向上させるなど、利用を拡大する。</p>	<p>【企業局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○デジタル技術導入推進事業

Ⅱ 大交流維新

目指すべき将来像

- ビッグデータ等を活用したマーケティングによる利用者ニーズの的確な把握や、SNS・アプリ等のデジタルコンテンツの活用によるリアルタイムで効果的な情報発信が可能となり、誘客や県産品の販路、海外展開が拡大し、県内経済の活性化が進んでいる。
- 新たなモビリティサービス(MaaS)の広がりによる二次交通の充実が、県外からのビジネス客や観光客の県内移動を誘引し、宿泊の増加や各地域での賑わいを生み出している。
- 県内各地でテレワークやワーケーションのできる環境が整備され、都市部からの人の流れが拡大しており、滞在期間の長期化も進み、本県への移住者の増加につながっている。

区分	目標(目指すべき姿)	対応策	主な関連事業等(令和4年度)
観光・交流	観光DX デジタル技術を活用したマーケティングや情報発信が進み、観光客の来訪意欲が高まり、観光消費額が増加する。	SNS解析等のデジタル技術を用いたマーケティングや効果的な情報発信を行うとともに、デジタルコンテンツを整備するほか、観光地経営のDXモデル形成に向けた支援を行い、観光事業者のデジタル技術の活用を促進する。	【観光スポーツ文化部】 ○戦略的観光消費額向上事業 ○海外誘客デジタルプロモーション事業 ○観光地経営データ活用モデル事業
	MaaS MaaSの導入により、ビジネス客・観光客の利便性及び周遊性が高まり、県内への誘客が拡大する。	JR新山口駅を中心として移動手段や多様なサービスを容易に検索・利用できる環境を整備する。	【産業戦略部】 ○新たなモビリティサービス調査・実証事業
	デジタル技術×文化・芸術 AI、5G、XR等様々なデジタル技術により、新たな美術鑑賞、文化体験スタイルを提供し、多くの県民が新たな文化・芸術の魅力に触れる機会を創出するとともに、県内外からの美術館への誘客や地域周遊の促進が図られる。	AIを活用した伝統芸能体験コンテンツのモデル創出により、地域伝統芸能の次世代への継承につなげるとともに、県立2美術館収蔵品のデジタルデータ化やバーチャルアートミュージアム、5G通信を活用した雪舟VRの体験機会の提供により、新たな美術館利用者の獲得を目指す。	【観光スポーツ文化部】 ○AI活用地域伝統芸能観光体験コンテンツ化事業 ○最先端技術による新たな芸術文化魅力創出事業 ○やまぐち文化プログラム推進事業

区分	目 標(目指すべき姿)	対 応 策	主な関連事業等(令和4年度)
県産品売り込み	web産地招へいシステム 本県独自の「web産地招へいシステム」の導入により、新たな商流の開拓・拡大が進むことで県産農林水産物の輸出が拡大する。	輸出に取り組む産地にバーチャル招へいできる「web産地招へいシステム」の導入に加え、輸出コンシェルジュを配置して、バイヤーに出向くプッシュ型セールスおよび県内生産者とのマッチングを支援する。	【農林水産部】 ○輸出促進プッシュ型web産地招へい事業
	オンライン商談システム オンライン商談会やAIを活用した市場調査等により、地域資源を活用した6次産業化の展開や農商工連携の取組が進み、農林漁業者や中小企業者の所得が向上する。	オンライン商談システムの運用や次世代型自動販売機を活用した市場調査など、地域資源を活かした本県独自の6次産業化を推進する。	【農林水産部】 ○やまぐち発農山漁村イノベーション推進事業
海外展開	越境EC(電子商取引) 海外ECサイトの活用により、海外に直接出店するリスクやコストが軽減し、県内中小企業の海外市場への参入が促進され、売上が増加する。	ジェトロ事業と連携し、中小企業の越境EC市場への参入を促進する。	【商工労働部】 ○越境EC活用推進事業
還流・移住促進	テレワーク・ワーケーション テレワークやワーケーションの定着により、都市部からの人の流れが拡大し、この流れを契機とした移住が促進され、地域が活性化する。	令和3年度に開設した拠点(やまぐち創生テレワークオフィス、やまぐちワーケーション総合案内施設)を中心に県内のテレワーク・ワーケーション受入体制を充実させるとともに、首都圏企業などをターゲットに利用促進に向けたプロモーション活動を強化する。	【総合企画部】 ○やまぐち創生テレワーク推進事業 ○テレワーク移住支援事業 ○ワーケーション推進事業 ○「住んでみいね!ぶちええ山口」移住促進事業
	新たな就職・採用スタイル VR映像やオンラインを活用した県内企業の魅力発信等を支援することにより、県外の学生が県内企業と向き合う機会を増やし、県内へのUJIターン就職を促進する。	VR映像やオンラインを活用した企業見学やインターンシップの実施等、県外の学生等に企業の魅力情報等を伝える取組を支援する。	【商工労働部】 ○若者県内定着促進事業(再掲)

Ⅲ 生活維新

目指すべき将来像

- AIやアプリ等を活用したきめ細かいサポート体制により、結婚の希望を叶え、安心して妊娠・出産、子育てができる環境が整っており、合計特殊出生率も向上し、若い世代が生き生きと子育てを楽しんでいる。
- 5Gを活用した医療や、ICT・ロボットを活用した介護等の提供体制が整備され、住み慣れた地域で安心して医療や介護サービスを受けることができる。
- 学校における1人1台タブレット端末等のICT環境を活用し、児童生徒一人ひとりに合った学びの充実や海外の学校等との交流が進んでおり、これからの時代に必要な資質・能力を身に付けた子どもたちが県内で健やかに育っている。
- AI、5G、XR(クロスリアリティ)等を活用した、新しい美術鑑賞や文化体験のスタイルが広く定着し、県民にとって、文化・芸術の新たな魅力に触れる機会の増加が、生活に潤いをもたらしている。
- AIやドローン等を活用した社会インフラの点検・診断、新たな防災システムの構築などにより、災害に強い県づくりが進み、県民が安心・安全に暮らすことができる。

区分	目標(目指すべき姿)	対応策	主な関連事業等(令和4年度)
出産、結婚、妊娠、子育て・	<p>AI×結婚、アプリ活用×子育て</p> <p>AIを活用した結婚応援により、マッチング率が向上し成婚者数が増加するとともに、アプリやSNSを活用した妊娠・出産、子育てに係る情報提供や相談体制が築かれ、子どもを生み育てることに係る不安が解消され、安心して妊娠・出産、子育てができる。</p>	<p>AIやアプリ等によるサポート体制を強化するとともに、SNSを活用した24時間365日相談体制を構築する。</p>	<p>【健康福祉部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ぶち幸せおいでませ！結婚応援事業 ○子育てAIコンシェルジュ運営事業 ○つながるやまぐちSNS相談事業 ○里親養育支援システム構築事業
働く環境	<p>スマートワーク</p> <p>県内中小企業においてテレワークやデジタル技術を活用した業務の効率化が進み、「働き方の新しいスタイル」として定着することにより、働きやすい魅力ある雇用の場が創出される。</p>	<p>テレワーク・ウェブ会議の継続的な利用促進や、デジタル技術を活用したコミュニケーション円滑化や職場環境改善等の取組事例の創出・展開、社内業務の内製化の促進を図る。</p>	<p>【商工労働部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○働き方の新しいスタイル推進事業 ○地域雇用創造事業(人材確保・定着推進) ○地域雇用創造事業(スキルアップ実装支援)

区分	目 標(目指すべき姿)	対 応 策	主な関連事業等(令和4年度)
若者の県内定着	<p>新たな就職・採用スタイル</p> <p>VR映像やオンラインを活用した企業の魅力等の情報提供により、若者が県内企業と向き合う機会が増加し、県内就職が促進する。</p>	<p>VR映像やオンラインを活用した企業見学やインターンシップの実施等、企業の魅力情報等を伝える取組を支援する。</p>	<p>【商工労働部】</p> <p>○若者県内定着促進事業（再掲）</p>
地域交通	<p>キャッシュレス</p> <p>県内路線バスへのICカード導入が進み、利用者の利便性が向上する。</p>	<p>県内路線バスへのICカード導入を支援する。</p>	<p>【観光スポーツ文化部】</p> <p>○バス交通系 I Cカード整備促進事業</p>
	<p>新たなモビリティ×地域交通</p> <p>新たなモビリティサービスの活用や既存の公共交通サービスのデジタル化等により、交通空白地の移動手段の確保や観光地等の移動利便性向上等が図られる。</p>	<p>新たなモビリティサービス等を活用した地域での実証を進め、その成果を踏まえて、新たな地域交通モデルの形成を進める。</p>	<p>【観光スポーツ文化部】</p> <p>○新たな地域交通モデル形成推進事業</p> <p>【産業戦略部】</p> <p>○新たなモビリティサービス調査・実証事業</p>
環境保全	<p>IoT×エネルギー</p> <p>蓄電池やEVといった分散型エネルギーの充放電をIoTを活用して制御する仕組みが構築され、再エネが有効活用されるようになり、地球温暖化対策が加速する。</p>	<p>県有施設をモデルとしてEVの蓄電機能を活用する実証試験を行うとともに、県有施設における再エネ等の導入ポテンシャル調査を実施する。</p>	<p>【環境生活部】</p> <p>○E Vによる分散型エネルギー活用推進事業</p>
	<p>アプリ活用×エコ行動</p> <p>スマートフォンアプリの活用により、電気使用量の抑制といった県民のエコ行動が進み、「低炭素型ライフスタイル」が定着することで地球温暖化対策が加速する。</p>	<p>「ぶちエコアプリ」によるエコ行動のポイント化や、子ども向け環境学習のデジタル化により、県民のエコ行動の自発的行動変容を促進する。</p>	<p>【環境生活部】</p> <p>○ぶちエコやまぐちC O 2削減加速化事業</p>

区分	目 標(目指すべき姿)	対 応 策	主な関連事業等(令和4年度)
教 育	<p>やまぐちスマートスクール構想</p> <p>1人1台タブレット端末などのICTを効果的に活用できる環境を整備するとともに、ICT環境を活用して、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させることで、子どもたちの可能性が広がる。</p>	<p>一人ひとりの教育的ニーズ・理解度に応じた個別学習や多様な意見に触れる協働学習を充実させ、「一人ひとりに合った学びで力を引き出す学校！」の実現をめざす。</p>	<p>【教育庁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○やまぐちスマートスクール構想推進事業 ○総合支援学校VR活用事業 ○やまぐちの活力を支える高校生就職支援事業 ○学びに向かうやまぐちっ子育成推進事業 ○ICTを活用した新たな学び推進事業 ○遊び・運動大好き！体力向上推進事業
	<p>海外の学校や遠隔地の学校等との交流を行うことで、新たな学びの機会を創出し、「海外・地域・他校とつながる学校！」の実現をめざす。</p>	<p>【教育庁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○やまぐちスマートスクール構想推進事業（再掲） ○やまぐちで学ぶ！高校教育魅力向上事業 ○明日のやまぐちを担う産業人材育成事業 ○やまぐちハイスクールブランド創出事業 	
	<p>障害や入院等で通学できない児童生徒の学びを保障する環境を充実させ、「安心・安全で一人ひとりを大切にする学校！」の実現をめざす。</p>	<p>【教育庁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教育ICT管理運営費 ○いじめ・不登校等対策強化事業 ○国公立高校生奨学給付金事業 ○就学奨励費 	
	<p>子どもたちの可能性を広げる効果的な教育実践を支える「ICT環境」の整備に取り組む。</p>	<p>【教育庁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教育ICT管理運営費（再掲） ○スクールネットワーク21管理運営費 ○統合型校務支援システム管理運営費 ○教育用コンピュータ整備事業 	
	<p>教育ICT化</p> <p>ICTを活用することより、広く、深い学びの場が増える。</p>	<p>ICT機器の導入や活用を支援するとともに、子どもたちが体験しながら学ぶ場を創出する。</p>	<p>【総合企画部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○クリエイティブ・キッズ育成事業 <p>【総務部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○私立学校運営費補助等による教育ICT化の支援
ス ポ ー ツ	<p>データ×競技力向上</p> <p>デジタル技術を活用したデータ分析等により、競技力の向上が図られる。</p>	<p>関係機関からの専門的なアドバイスをオンラインでアスリート等に提供するとともにデジタルデバイスを用いた指導・強化体制を構築する。</p>	<p>【観光スポーツ文化部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○若者が活躍する競技スポーツ推進事業

区分	目 標(目指すべき姿)	対 応 策	主な関連事業等(令和4年度)
文化	<p>デジタル技術×文化・芸術</p> <p>AI、5G、XR等様々なデジタル技術により、新たな美術鑑賞、文化体験スタイルを提供し、多くの県民が新たな文化・芸術の魅力に触れる機会を創出するとともに、県内外からの美術館への誘客や地域周遊の促進が図られる。</p>	<p>AIを活用した伝統芸能体験コンテンツのモデル創出により、地域伝統芸能の次世代への継承につなげるとともに、県立2美術館収蔵品のデジタルデータ化やバーチャルアートミュージアム、5G通信を活用した雪舟VRの体験機会の提供により、新たな美術館利用者の獲得を目指す。</p>	<p>【観光スポーツ文化部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○AI活用地域伝統芸能観光体験コンテンツ化事業 ○最先端技術による新たな芸術文化魅力創出事業 ○やまぐち文化プログラム推進事業
防災・減災	<p>デジタル技術×インフラ監視・点検</p> <p>デジタル技術を活用し、インフラメンテナンスの高度化・効率化を図り、安心して暮らせる山口県を実現する。</p>	<p>デジタル技術を活用し、ドローン等による地形の変状監視やAIによる橋梁等の健全度診断などを行うことで、異状を早期に発見し、速やかに対応する「日本一の安心インフラやまぐち」の実現を目指す。</p>	<p>【土木建築部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高度なインフラ監視・点検（公共事業） 河川、離島架橋・特殊橋等 ○AIによるインフラ点検・診断システム活用推進事業 小規模橋梁等 ○インフラメンテナンス高度化・効率化推進事業
		<p>測量・設計、施工、維持管理の各段階で3次元モデルの活用を促進するためのガイドラインを作成する。</p>	<p>【土木建築部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○建設DX加速化事業（再掲）
医療・介護・福祉	<p>遠隔医療</p> <p>5G環境での遠隔医療体制の構築とあわせ、離島など多様な現場で活用可能な新たなデジタル技術を展開することで、遠隔医療が加速化し、医療提供体制の充実が図られる。</p>	<p>5G環境での取組の導入を促進するため、実証を継続し、更なる知見を蓄積する。 また、場所を問わず遠隔医療が提供可能なデジタル技術の活用を、離島でモデル的に実施する。</p>	<p>【健康福祉部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域医療デジタル改革加速化事業
	<p>ICT・ロボット×福祉</p> <p>ICTやロボットを活用することにより、介護・障害福祉施設の業務を効率化し、現場の負担の軽減が図られる。</p>	<p>介護・障害福祉現場におけるICTやロボット活用の普及啓発を行うとともに、導入に対する支援を行う。</p>	<p>【健康福祉部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○介護事業所ICT導入推進事業 ○障害福祉事業所ICT等導入モデル事業

区分	目 標(目指すべき姿)	対 応 策	主な関連事業等(令和4年度)
健康づくり	アプリ活用×健康づくり AIやビッグデータの活用により、健康づくりの「見える化」・「日常化」が進められ、楽しく、無理なく健康づくりに取り組み、健康寿命を延伸する。	やまぐち健幸アプリを活用し、県民の健康づくりをサポートする。	【健康福祉部】 ○やまぐち健幸プロモーション推進事業
	AI×暮らし AI技術を活用して県内の大麻乱用者の抑制を図り、健康で安心して暮らせる社会を実現する。	AIがSNS内の大麻関連キーワード等を巡回・監視し、大麻入手に対する注意喚起や警告を行うことで、大麻乱用の未然防止を図る。	【健康福祉部】 ○「STOP!大麻!」対策強化事業
暮らしの安全	ICT×防犯・安全・安心 ICTを活用した防犯・交通安全講習の開催や、デジタル技術を活用した犯罪捜査により、安心して安全に暮らせる社会を実現する。	VR技術を活用した効果的な被害防止講習を行い、犯罪や交通事故から自分の身を守るという意識の醸成や行動力を身につけることを可能にする。	【警察本部】 ○ICT機器を利用した少年の被害防止対策等推進事業
		犯罪捜査において、リモートオンライン似顔絵作成システムを導入することで、被害者・目撃者の心理的負担の軽減や時間短縮等のコストの軽減を図る。	【警察本部】 ○警察行政デジタル化推進事業 (デジタル・リモート・オンライン捜査用似顔絵作成システムの導入)
地域の自活	ICT×地域活動 中山間地域においても、デジタル技術を活用した地域活動が普及し、地域の維持・活性化が図られる。	地域団体が取り組むデジタル技術を活用した地域づくり活動を支援する。	【総合企画部】 ○やまぐち元気生活圏活力創出事業

IV 共通

目指すべき将来像

- マイナンバーカードが普及し、カードを使って全ての行政手続がオンラインでワンストップに行えるほか、口座情報との連携により、災害時はもとより、通常のサービスにおいても、必要なプッシュ型支援を受けることができる。
- 離島や過疎地域を含めた県内全域に、誰もが利用できる高度なブロードバンド環境が整っている。また、UI(ユーザーインターフェイス)・UX(ユーザーエクスペリエンス)が最適化され、高齢者や障害者、デジタル機器に不慣れな方も、手軽にデジタルサービスを利用することができる。
- 県内で多くのデジタル人材が育ち、そうした人材の官民にわたる活躍により、デジタル社会がさらに進化し続けている。

区分	目標(目指すべき姿)	対応策	主な関連事業等(令和4年度)
デジタル・ガバメント	行政手続オンライン化・ワンストップ 行政手続のオンライン化により、窓口までの移動や手続・待ち時間等の負担が軽減され、住民の利便性が向上する。	住民からの行政手続における押印や書面規制を見直し、オンライン化を推進するとともに、公金納付のキャッシュレス決済を拡大する。	【総合企画部】 ○行政事務情報化事業 (電子契約サービスの導入) (Web口座振替受付サービスの導入) (電子申請システムの対象手続拡充) (県税のキャッシュレス収納の対象拡大) (税外収入のキャッシュレス決済の対象拡大)
	AI・RPA等⇒行政サービス向上 AIやRPA、Web会議システム、電子決裁システム等の導入により、庁内業務の効率化が図られるとともに、行政サービスの質が向上する。	AIの高精度化やRPA技術の導入拡大を推進するとともに、ネットワークやPC等の整備、庁内システム環境の最適化や電子決裁システムによる内部事務の押印廃止を進める。	【警察本部】 ○警察行政デジタル化推進事業
			【総合企画部】 ○県・市町RPA等共同利用推進事業 ○RPA等活用推進事業
			【警察本部】 ○警察行政デジタル化推進事業(再掲)
	県民からの相談内容を分析、蓄積するとともに、蓄積データを基に県民相談に対応するAIを活用し、相談対応の迅速化、高度化を図る。	【総合企画部】 ○県民相談高度化事業	

区分	目 標(目指すべき姿)	対 応 策	主な関連事業等(令和4年度)
DX推進体制	<p>DX拠点</p> <p>Society5.0の実現に向けて、デジタル技術を活用した取組を加速し、社会課題の解決や地域経済の活性化を図る。</p>	<p>やまぐちDX推進拠点「Y-BASE」を核として県政の幅広い分野で全県的にDXを推進するとともに、官民協働フォーラム「デジテック for YAMAGUCHI」の活動を促進するなど、デジタル技術を活用して、地域課題の解決や新たな価値の創造を推進する。</p>	<p>【総合企画部】</p> <p>○やまぐちDX推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Y-BASE運営事業 ・デジテック for YAMAGUCHI活動推進事業 ・デジテック・オープンイノベーション創出事業 ・シビックテックチャレンジYAMAGUCHI推進事業 ・データドリブン推進事業 ・課題解決エンジニア・キャンプ実施事業 ・デジタル共創展示会開催事業 ・やまぐちデジタルマンスリー開催事業 <p>○未来技術活用推進事業</p>
デジタル人材の育成	<p>デジタル人材育成</p> <p>必要なデジタル人材を育成・確保し、県内のDXを推進する。</p>	<p>民間企業の人的資源を効果的に活用するとともに、産学公連携による人材育成等の取組を実施する。</p>	<p>【総合企画部】</p> <p>○やまぐちDX推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データドリブン推進事業(再掲) <p>○次代を支えるデジタル人材育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やまぐちAI Quest実施事業 ・山口データアカデミー開催事業 ・ローコード基礎研修実施事業 ・やまぐちデザインシンキングカレッジ開催事業 ・ワールドAIコンペティション実施事業 <p>【産業戦略部】</p> <p>○ものづくり企業におけるDX加速支援事業(再掲)</p> <p>○高度産業人材確保事業(再掲)</p> <p>【商工労働部】</p> <p>○データサイエンス活用推進事業(再掲)</p> <p>○中小企業DX推進総合支援事業(再掲)</p> <p>○職業能力開発支援事業(再掲)</p> <p>○地域雇用創造事業(求職者キャリアアップ支援)(再掲)</p>
デジタル格差の排除	<p>デジタル格差の排除</p> <p>県民誰もがデジタル技術を主体的に活用できるデジタル社会が実現している。</p> <p>県内どこでも、誰もが利用できる高度なブロードバンド環境が整っている。</p>	<p>デジタル機器の活用不安のある高齢者等がデジタルの楽しさや利便性を理解し、より豊かな生活が実現できるように、デジタルデバインド対策を実施する。</p> <p>「地域間のデジタルデバインド」を解消するため、5G基地局や光ファイバ網の整備を促進する。</p>	<p>【総合企画部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○デジタルデバインド対策事業 ○未来技術活用推進事業(再掲) ○光ファイバの整備促進等に関する国への要請活動 ○5G基地局の整備促進に向けた県有施設敷地等の活用

4 令和4年度「デジタル・魁プロジェクト」について

デジタル化の効果を目に見える形で、県民の皆様にはいち早く実感してもらおうことができるよう、特定の政策テーマの下、関連する施策の中から先導的な取組をプロジェクト化し、『デジタル・魁(さきがけ)プロジェクト』として、重点的・集中的に実施

さきがけ 「デジタル・魁プロジェクト」

※具体的なプロジェクトは、毎年度の予算編成を通じて決定

令和4年度 : 10の魁プロジェクト ~ Digital 10 ~

- 1 「デジタル de 子育て支援」推進プロジェクト
- 2 「やまぐちスマートスクール構想」推進プロジェクト
- 3 「日本一の安心インフラやまぐち」実現プロジェクト
- 4 「未来を切り拓く中堅・中小企業DX」促進プロジェクト
- 5 「地域を支えるスマート農林水産業」加速化プロジェクト
- 6 「観光V字回復・関係人口拡大」推進プロジェクト
- 7 「みんなで共創！ソリューション」創出プロジェクト
- 8 「データ=価値創造の源泉」利活用促進プロジェクト
- 9 「誰一人取り残さないデジタル社会」実現プロジェクト
- 10 「明日の社会を創るデジタル人材」育成プロジェクト

1

「デジタル de 子育て支援」推進プロジェクト

SNSアプリやAIチャットボット等の活用により、県民からの妊娠、出産、子育てに関する問い合わせに24時間365日対応するとともに、母子手帳アプリとの連携による記録・通知機能や虐待等に関するSNS相談機能等を提供する総合的な子育て支援システムを運営し、出産から子育てまでの一貫したデジタルによる伴走型支援を実施する。加えて、ICTを活用した里親とのマッチング業務の効率化等に取り組み、子育て支援の充実を図る。

構成事業等

	予算額	所管部局
• 子育てAIコンシェルジュ運営事業	9,631千円	[健康福祉部]
• つながるやまぐちSNS相談事業	28,665千円	[健康福祉部]
• 里親養育支援システム構築事業	6,891千円	[健康福祉部]

※構成事業及び予算額は、令和3年度2月補正予算に計上したものを含む。(以下同じ)

2

「やまぐちスマートスクール構想」推進プロジェクト

県立学校において、全国に先駆けて整備したICT環境の活用と更なる高度化により、個別最適な学びと、海外の学校等ともオンラインで交流する等の協働的な学びを一体的に充実させ、子どもたちの可能性を広げる「やまぐちスマートスクール構想」を推進するとともに、私立学校におけるICT環境の整備・活用への支援等を行う。

構成事業等

• やまぐちスマートスクール構想推進事業	175,473千円	[教育委員会]
• 総合支援学校VR活用事業	3,487千円	[教育委員会]
• やまぐちで学ぶ！高校教育魅力向上事業	3,328千円	[教育委員会]
• 明日のやまぐちを担う産業人材育成事業	4,816千円	[教育委員会]
• 教育ICT管理運営費	103,168千円	[教育委員会]
• 私立学校運営費補助等による教育ICT化の支援		[総務部]

3

「日本一の安心インフラやまぐち」実現プロジェクト

頻発・激甚化する自然災害や進行する施設の老朽化等に対応し、公共インフラの「安心・安全」を維持・確保するため、衛星やドローン等により地形データを取得することで、変状箇所の早期発見につなげるとともに、3次元モデルの作成やひずみ計・変位計を使った計測を行い、AIでデータ解析することにより、迅速かつ確実な点検・診断を実施するなど、デジタル技術を活用したインフラメンテナンスの高度化・効率化を図る。

構成事業等

- 高度なインフラ監視・点検 200,000千円 [土木建築部]
 - 単独河川改修費（公共事業） 河川の変状監視
 - 橋りょう補修費（公共事業） 橋梁の健全度診断等
 - AIによるインフラ点検・診断システム活用推進事業 40,000千円 [土木建築部]
 - インフラメンテナンス高度化・効率化推進事業 20,690千円 [土木建築部]
 - 建設DX加速化事業 10,000千円 [土木建築部]

4

「未来を切り拓く中堅・中小企業DX」促進プロジェクト

県内中堅・中小企業の経営革新と持続的な成長に向けて、デジタル技術を活用した新たな製品・サービスの開発を促進するとともに、デジタル技術の進展に対応した情報システムの戦略的利用や研究開発基盤の構築、リモートワークを中心としたワークプレイスの導入などを通じ、生産性向上や既存ビジネスの変革、新規ビジネスの創出を目指す各企業の取組を支援する。また、急速に進展しているデジタルを活用した採用活動の考え方やノウハウの習得を支援し、県内企業の採用力強化を図る。

構成事業等

- やまぐちDX推進事業 303,906千円 [総合企画部]
- 次代を支えるデジタル人材育成事業《再掲》 62,820千円 [総合企画部]
- ものづくり企業におけるDX加速支援事業 69,000千円 [産業戦略部]
- 未来型商店街創造事業 62,000千円 [商工労働部]
- 産学公によるバーチャルラボ構築事業 10,000千円 [商工労働部]
- 3Dものづくり技術活用推進事業 9,473千円 [商工労働部]
- 宇宙利用産業創出支援事業 74,395千円 [商工労働部]
- データサイエンス活用推進事業 5,700千円 [商工労働部]
- 中小企業DX推進総合支援事業 286,853千円 [商工労働部]
- ニュースタイル対応販路拡大支援事業 53,034千円 [商工労働部]
- デジタルを活用した採用力強化支援事業 22,403千円 [商工労働部]
- 首都圏等プロフェッショナル人材還流促進事業 77,340千円 [商工労働部]
- 中小企業制度融資(DX対応支援資金) 融資枠：500,000千円 [商工労働部]
- 働き方の新しいスタイル推進事業 99,375千円 [商工労働部]
- 建設DX加速化事業《再掲》 10,000千円 [土木建築部]

5

「地域を支えるスマート農林水産業」加速化プロジェクト

デジタル技術の生産現場への実装を加速させ、生産性・収益性の向上や、省力化による労働環境の改善、経営継承等を促進するとともに、熟練者の技術や知見等の「匠の技」を再現・創出することで、本県の地域特性に応じた「山口型スマート技術」の確立を推進する。さらには、デジタル技術を活用した新たなローカルフードビジネスや新サービスの創出による需要拡大の取組を拡充し、地域を支える農林水産業の体力強化と成長産業化を加速する。

構成事業等

・スマート農林漁業「匠の技」創出事業	73,407千円 [農林水産部]	・やまぐち「農の継活」スタートアップ推進事業	21,700千円 [農林水産部]
・輸出促進プッシュ型web産地招へい事業	20,000千円 [農林水産部]	・畜産オンライン生産システム実装推進事業	4,690千円 [農林水産部]
・やまぐち麦DX活用推進事業	14,000千円 [農林水産部]	・林業労働環境デジタル化推進事業	15,000千円 [農林水産部]
・持続的漁場利用推進事業	10,000千円 [農林水産部]	・やまぐちスマート林業実装チャレンジ事業	33,881千円 [農林水産部]
・やまぐち発農山漁村イノベーション推進事業	26,690千円 [農林水産部]	・スマート水産業社会実装推進事業	11,000千円 [農林水産部]
・やまぐちの農林水産物デジタル販促推進事業	19,277千円 [農林水産部]	・やまぐち畜産・酪農収益力強化事業	561,735千円 [農林水産部]

6

「観光V字回復・関係人口拡大」推進プロジェクト

「コロナの時代」にあっても、活気に満ちた山口県の観光の未来を切り拓く取組を推進するため、本県観光のV字回復に向け、デジタルプロモーションの展開やデジタルコンテンツの整備、観光地経営のDX化に対する支援など、誘客拡大と県内周遊への誘引に向けた取組の強化とともに、ワーケーションの積極的な呼び込みなど、移住・交流・関係人口の拡大を図る。

構成事業等

・戦略的観光消費額向上事業	70,000千円 [観光スポーツ文化部]
・海外誘客デジタルプロモーション事業	46,617千円 [観光スポーツ文化部]
・観光地経営データ活用モデル事業	10,000千円 [観光スポーツ文化部]
・AI活用地域伝統芸能観光体験コンテンツ化事業	24,000千円 [観光スポーツ文化部]
・やまぐち文化プログラム推進事業	16,514千円 [観光スポーツ文化部]
・やまぐち創生テレワーク推進事業	32,071千円 [総合企画部]
・ワーケーション推進事業	48,000千円 [総合企画部]
・首都圏等プロフェッショナル人材還流促進事業《再掲》	77,340千円 [商工労働部]

7

「みんなで共創！ソリューション」創出プロジェクト

令和3年度に設置した「やまぐちDX推進拠点Y-BASE」やDX推進官民協働フォーラム「デジテック for YAMAGUCHI」を核に、優れたデジタル技術を有する様々な主体が連携・協働し、新たな価値やサービスを創造する「オープンイノベーション」や、地域課題解決に取り組む「シビックテック」を積極的に支援するなど、地域課題の解決や新たな価値の創造に向けた実証等を促進し、実践的で効率的なソリューション等を創り上げ、確実に現場に実装していく取組を加速していく。

構成事業等

- やまぐちDX推進事業《再掲》 303,906千円 [総合企画部]
 - Y-BASE運営事業
 - デジテック for YAMAGUCHI 活動推進事業
 - デジテック・オープンイノベーション創出事業
 - シビックテックチャレンジYAMAGUCHI 推進事業
 - データドリブン推進事業
 - 課題解決エンジニア・キャンプ実施事業
 - デジタル共創展示会開催事業
 - やまぐちデジタルマンスリー開催事業
- 次代を支えるデジタル人材育成事業《再掲》 62,820千円 [総合企画部]
 - やまぐちAI Quest 実施事業
 - 山口データアカデミー開催事業
 - ローコード基礎研修実施事業
 - やまぐちデザインシンキングカレッジ開催事業
 - ワールドAIコンペティション実施事業
- 地域医療デジタル改革加速化事業 40,218千円 [健康福祉部]
- ものづくり企業におけるDX加速支援事業《再掲》 69,000千円 [産業戦略部]

8

「データ＝価値創造の源泉」利活用促進プロジェクト

「価値創造の源泉」であるデータの流通と利活用を促進し、新たなイノベーションやソリューションの創出につながるため、行政保有データの更なるオープン化や民間データの収集等に取り組み、利活用のための環境を充実させるとともに、データ活用に係るスキルやノウハウの普及向上に向けて、人材育成の取組を進める。

構成事業等

- やまぐちDX推進事業《再掲》 303,906千円 [総合企画部]
 - Y-BASE運営事業
 - デジテック for YAMAGUCHI 活動推進事業
 - データドリブン推進事業
- 次代を支えるデジタル人材育成事業《再掲》 62,820千円 [総合企画部]
 - 山口データアカデミー開催事業
- データサイエンス活用推進事業《再掲》 5,700千円 [商工労働部]

「誰一人取り残さないデジタル社会」実現プロジェクト

情報通信基盤の整備状況等に起因する「地域間のデジタルデバイド」、デジタルリテラシーの違い、あるいは、デジタルサービス自体のアクセシビリティの問題等による「個人間・集団間のデジタルデバイド」を徹底して排除し、誰一人取り残さないデジタル社会を実現するため、光ファイバ網や5Gの利用環境を整備するため、引き続き、国や通信事業者への要請を重ねるとともに、デジタル機器の活用に不安のある高齢者等がデジタルの恩恵を受け、より豊かな生活が実現できるようデジタルデバイド対策の強化を図る。

構成事業等

- デジタルデバイド対策事業 9,938千円 [総合企画部]
- 光ファイバの整備促進等に関する国への要請活動 [総合企画部]
光ファイバ整備に対する支援制度の継続・拡充、光ファイバ等の超高速ブロードバンドのユニバーサルサービス化 等
- 5G基地局の整備促進に向けた県有施設敷地等の活用 [総合企画部]
- 未来技術活用推進事業 [総合企画部]
5G基地局の整備に係る通信事業者向けワンストップ窓口の運用

「明日の社会を創るデジタル人材」育成プロジェクト

これからのデジタル社会を創り支えるデジタル人材を育成し、県内での活躍の場へ輩出していくため、多様な対象者の技術レベルにも対応しながら、学習プログラムの提供や研修会・セミナーの開催、アイデアソン・ハッカソンの実施など様々な手法により、官民幅広く人材育成の取組を展開する。

構成事業等

- やまぐちDX推進事業《再掲》 303,906千円 [総合企画部]
- データドリブン推進事業
- 次代を支えるデジタル人材育成事業 62,820千円 [総合企画部]
- やまぐちAI Quest 実施事業
- 山口データアカデミー開催事業
- ローコード基礎研修実施事業
- やまぐちデザインシンキングカレッジ開催事業
- ワールドAIコンペティション実施事業
- ものづくり企業におけるDX加速支援事業《再掲》 69,000千円 [産業戦略部]
- データサイエンス活用推進事業《再掲》 5,700千円 [商工労働部]
- 中小企業DX推進総合支援事業《再掲》 286,853千円 [商工労働部]
- 地域雇用創造事業（うち求職者向けキャリアアップ支援） 19,900千円 [商工労働部]
- やまぐちスマートスクール構想推進事業《再掲》 175,473千円 [教育委員会]